

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

I 適切な管理運営の確保		
1 施設の設置目的、基本方針等 施設の設置目的及び管理の基本方針の達成に向けた取組がなされているか。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	・ 会津町方伝承館条例及び関係法令等に定められた設置目的を十分に理解し、本市の伝統産業の振興・発展を図るため事業運営と公の施設としての適正管理に努めた。 ・ 伝統工芸品の紹介の充実を図るため、1階フロアを適宜変更し、各伝統工芸品の紹介コーナーを設置した。また、常設展示コーナーとワークショップコーナー(赤べこ・起き上がり小法師の絵付け体験)を常設し、魅力ある施設づくりに取り組んだ。 ・ 指定管理者としての基本方針を会津町方伝承館おもてなし7カ条として明文化してスタッフ会議で共有し、町方伝承館が公の施設であり市民の貴重な財産を管理しているという認識のもと、市民・観光客に親しまれる施設づくりを基本とした業務運営に努めた。 スタッフ会議・・・館内スタッフを対象に、週1回程度、情報共有や懸案事項について協議している。 ・ 地方自治法に定める公の施設として特定の個人や団体に便宜を図ることのないよう、広報誌やホームページ等で情報提供を行う等、平等かつ公平な施設利用に努めた。	・ 施設の設置目的の理解度 ・ 施設の設置目的の達成度 ・ 基本方針の明文化 ・ 基本方針の周知状況 ・ 平等利用の確保

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

	最終評価	所見	
	A	・施設の設置目的を十分に理解し、市民及び観光客等多くの利用者に対して伝統工芸の紹介や観光情報の提供に努めている。 ・基本方針の明文化に加え、スタッフ会議や日報で社員への情報共有を図り、意識の向上に努めている。 ・会津町方伝承館が公の施設であることの認識を持ち、広く情報提供を行い、平等利用の確保と公平な施設の運営に努めている。	

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

2 適切な管理の履行		
開館時間、個人情報の管理、定期報告等は、仕様どおり遵守されているか。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	・ 条例の規定に基づき供用時間を遵守した。 利用時間 9:00~18:00 ・ 開館日や供用時間の変更の際には、事前に市に承認を得たほか、利用者には、ホームページをはじめ、SNS（Instagram・Facebook）を活用し周知を図った。 ・ 施設管理上知り得た個人情報については、会津若松市個人情報保護法施行条例並びに個人情報保護のガイドラインに基づき適切な管理を行った。 ・ 指定管理者協定に基づき四半期毎の報告を行っているほか、適宜、所管課との情報の共有に努めた。	・ 供用時間、開館日の遵守 ・ 供用時間等を変更した際の利用者への周知、市への承認 ・ 個人情報の適切な管理 ・ 適切な定期報告
最終評価	所見	
A	・ 条例の規定に基づいた供用時間を遵守しており、開館日の変更がある場合には市の承認を得ている。 ・ 個人情報の取扱いについては、市の条例及び個人情報保護のガイドラインを遵守し、適切に管理している。 ・ 指定管理者協定書に基づき、四半期ごとの定期報告を滞りなく適切に行っている。	

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

3 職員の状況 職員の勤務形態、人員体制は適切か、また、職員による利用者への接遇は良好か。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	・事業計画に沿って社員を配置し、役割分担しながら連携して業務に取り組んだ。 ・繁忙期、閑散期に利用者数を想定し、適正かつ柔軟なシフト配置を行った結果、人件費が抑制され超過勤務も無かった。 ・お客様をお迎えする上での行動指針を記した「会津町方伝承館おもてなし7か条」を館内に掲示し、一人ひとりが実践し、サービス向上に努めた。 ・日報による情報共有やOJT、各種スキルアップの研修に参加し、意識醸成に努めた。 ・会津木綿のユニフォームと名札の着用を義務付けることで、身だしなみの統一を図った。	・計画に沿った人員配置、役割分担 ・超過勤務の有無 ・職員の接遇、服装
最終評価	所見	
A	・事業計画に沿った人員配置が行われており、繁忙期や閑散期、イベントの実施に応じた勤務シフトによる勤務体制を取ることで、人件費の抑制と超過勤務の削減に努めている。 ・研修として伝統工芸の体験を実施し、知識及びサービスの向上を図り、意識醸成と接遇向上に努めている。 ・社員全員が制服と名札を着用し、身だしなみの統一を図り、館内の雰囲気づくりに貢献している。	

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

Ⅱ 利用者サービスの維持向上			
1 利用状況 利用の実績、施設の稼働率に向上が見られるか。あるいは減少した場合は合理的な理由があるか。			
自己評価	指定管理者コメント		評価の指標
A	【来館者数及び2階展示室利用者数】 令和6年度 来館者数 10,597 人 2階展示室利用 18 団体（延べ） 利用日数 60 日／開館日数 306 日 利用率 19.6% 令和5年度 来館者数 13,373 人 2階展示室利用 17 団体（延べ） 利用日数 77 日／開館日数 311 日 利用率 24.8% ・令和5年度と比較して来館者数は2,776人減少し、2階貸室の利用稼働率は5.2%減少した。 ・来館者数の減少については、例年ご利用いただいていた団体が展示室利用と催事開催に至らなかったこと、加えて1,2月の豪雪の影響により観光客が大幅に減少したことが要因として考えられる。 ・SNS（Instagram・Facebook）を活用した2階の各種催しや利用促進業務、自主事業を積極的にPRした。 ・地元商店街との連携を図りながら利用促進に努めた。 ・利用促進事業の実施（年間6事業、開催日数214日間）と、新規顧客の開拓など誘致活動や宣伝広報活動を積極的に行った結果、利用促進事業開催期間中の来館者は7,777人であった。		・利用者数 ・稼働率

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

	最終評価	所見	
	A	・ 2階展示室の利用について、利用案内の掲示や過去の開催者に利用を促すなど、利用促進に努めたが、令和5年度に比べ利用率が5.2%減少した。 ・ SNS（Instagram・Facebook）を活用したPRや、地元商店街と連携し、積極的にイベントへ参加するなど来館者数の増加につなげている。 ・ 来館者数については、計画していたからむし織フェアの開催に至らなかったことや、令和7年2月の大雪による影響などが要因で、令和5年度と比較して来館者数は2,776人減少したものの、外部イベントへの積極的な参加やSNSなどのPR活動、さらには令和5年度から自主事業・利用促進事業の開催回数や日数を増やすなど、来館者数の増加に努めており、引き続き利用促進の取組を期待する。	

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

2 サービス内容の向上 利用者サービスの向上のための取組を行っているか。			
自己評価		指定管理者コメント	評価の指標
S		・ 2 階の催しものの情報を「会津町方伝承館の催しもの」として館内掲示し、伝統工芸品などの紹介コーナーも作り分かりやすく情報提供を行っている。 ・ まちなかの様々な観光情報を提供し、町方伝承館を中心としたまちなか観光へ繋がるような案内及び誘導に努めた。 ・ 来館者へのサービス向上のため、お客様をお迎えする上での行動指針を記した「会津町方伝承館おもてなし 7 か条」を施設内に掲示し、一人ひとりが実践に努め、来館者のニーズに合わせた情報提供や観光案内などの対応に努めた。 ・ 教育旅行体験学習の受入として、赤べこや起き上がり小法師の絵付け体験、校外学習での施設説明や伝統工芸品の紹介を行った。 ・ 電話対応の際に必ず自ら名前を名乗り、責任ある対応を行うことを徹底したほか、来館された方が車椅子利用者であるなど身体的なハンディキャップがある場合は、進んでお声がけするなどの対応に努めた。 ・ 館内の伝統工芸品の情報について、英語や繁体字表記を追加しインバウンドへの対応に努めた。 ・ 会津地域の伝統産業の PR を図るため、利用促進業務では伝統工芸品中心の作品展示を行うとともに、季節に応じたテーマ別の展示を 214 日間実施し、魅力向上に努めた。 ・ 「会津まちの駅ネットワーク」のキーステーションとして、会津地域 38 か所の「まちの駅」と連携し、情報共有を行い、まちの駅の機能である、案内人によるおもてなし・駐車場・トイレの提供・情報コーナーを設置しサービス向上に努めた。 ・ 利用促進事業で展示するエリアのディスプレイ棚を新設した。これまではガラスであったが杉板にペイントして工芸品を雰囲気よく展示するよう工夫した。	・ 受付窓口(掲示板等)の状況 ・ 利便性向上の取組 ・ 見学への対応 ・ 電話対応 ・ 提案内容の履行の状況 ・ 利用者サービス向上のための柔軟な供用の実施

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

	最終評価	所見	
	S	・ 2階展示室の催事情報やギャラリースペースの利用案内を受付に掲示し、周知及び利用促進に努めた。 ・ 「会津まちの駅ネットワーク」のキーステーションとしての機能を生かし、来館者のニーズに応じた観光案内を行い、まちなか観光を推進するとともに、トイレや休憩場所を提供し、来館者へのサービス向上に努めている。 ・ 教育旅行や体験学習の受け入れを積極的に行い、来校数は令和5年度と比較し、44%増加した。また、テーマ別の学習課題の質問に対し、スタッフが伝統工芸の歴史を解説するなど、丁寧に対応し、伝統産業とふれあう機会を提供した。 ・ 来館者の状況に応じ、声かけや介助を行うことで誰もが利用しやすい施設づくりとするなど、柔軟に対応している。 ・ インバウンドの旅行者に向けて、外国語パンフレットの作成や、館内の伝統工芸品の情報に外国語表記を追加するなど、意欲的にサービス向上に取り組んでいる。また、季節に応じたテーマ別の展示を行い、年間を通じて充実した展示内容とし、魅力向上に努めている。	

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

3 利用者からの意見抽出、苦情等の処理 利用者が意見を述べやすい環境を整備しているか、また速やかに対応できる体制を整備しているか。			
自己評価		指定管理者コメント	評価の指標
A		・施設内にアンケートボックスを設置しているほか、ホームページ上においても「お問い合わせ窓口」を設置し、お客様の声の抽出に努めた。 ・要望やクレームの対応手順等について、マニュアル化している。また、苦情処理簿を作成し、日報やスタッフ会議において速やかに確認・共有することにより、その改善に努めた。 ・苦情やクレーム等の内容によっては、所管課に報告するほか、その対応方法においても協議を行うことを基本としているが、特に大きな苦情等はなかった。	・意見受付窓口等の設置 ・意見、苦情等の記録 ・苦情等への対応状況

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

	最終評価	所見	
	A	・ アンケート箱の設置やホームページのお問い合わせフォームを通じてお客様からの意見を抽出している。 ・ 要望やクレーム等の対応手順をマニュアル化している。クレームや苦情があった場合には、苦情処理簿を作成し、スタッフ間で確認・共有することで改善できる体制を構築している。 ・ 令和6年度においても大きな苦情はなく、良好な運営を行っている。	

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

4 広報、PR活動			
積極的な広報、PR活動を行っているか。また、その内容は適切か。			
自己評価		指定管理者コメント	評価の指標
	S	・会津町方伝承館のパンフレットを既存の施設に加え、まちの駅ネットワークを中心とした施設へ配布することにより広報PR活動に努めた。 ・福島県主催の台湾・台北商談に参加し、会津町方伝承館の繁体字のパンフレットを作成し、現地旅行社との商談・情報発信を通してインバウンド誘客促進に努めた。 ・ホームページをはじめSNS(Instagram・Facebook)を活用し、施設全体のPRや自主事業、2階展示室の催事情報の発信を通して、利用促進に努めた。また、利用頻度の高いGoogleマップを活用した情報発信も行った。 ・マスコミへの情報提供を月1回行い、各種取材に全面的に協力するなど施設PRに努めた。 ・市政だよりによる定期的な催事情報の発信を行った。 ・全国まちの駅ネットワークを活用し、会津のまちの駅キーステーションである会津町方伝承館の情報を全国まちの駅のSNS(Instagram)で情報発信を行い、まちの駅全国大会ではパンフレットやチラシを配布した。	・広報誌、PR誌等の作成 ・チラシ等の作成 ・ホームページによるPR ・情報提供のパンフレット

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

	最終評価	所見	
	S	・ 会津町方伝承館のパンフレットを、まちの駅ネットワークを中心とした施設に配布し、広報活動に努めている。また、全国まちの駅ネットワークを活用し、会津地域外への PR も積極的に行った。 ・ イベントの PR 用チラシの作成やホームページ、SNS(Instagram・Facebook)など、既存の PR 活動を行うだけでなく、新たに Google マップを活用した PR を行うなど、新たな手法を取り入れ、集客力向上に努めている。 ・ 国内外のイベントへ積極的に参加し、会津町方伝承館の認知度を高めているほか、外国語のパンフレットを作成し、海外の現地旅行会社への情報発信を行うなど、インバウンドの誘客促進にも努めた。 ・ マスコミへの情報提供や市政だよりでの定期的な催事情報の発信により、施設全体の PR や自主事業などの周知を図っている。	

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

5 自主事業の実施状況			
計画した事業が適切に実施されているか。また、内容は効果的なものであったか。			
自己評価	指定管理者コメント		評価の指標
A	・事業計画に掲げた各種事業については、からむし織フェアは協力事業者の都合により開催はかなわなかったが、その他は計画通り実施した。追加の事業として、会津木綿のワークショップを実施し、多くの方に体験いただいた。 ・自主事業のPR用チラシ作成・配布や、絵付け体験イベントへの参加により認知度を高めた。 ○赤べこ絵付け体験ワークショップ「あかべこ絵付け体験」(東京・青山学院キャンパス)(8/23) ○赤べこ絵付け体験ワークショップ in 台北 (台湾台北・日本台湾交流協会)(10/19) ○赤べこ絵付け体験ワークショップ(塩川・塩川体育館)(10/26) ○「AKB48と一緒に福島を感じよう第2回どうしても福島が好きだ」赤べこ絵付け体験ワークショップ・工芸品紹介販売(東京・秋葉原)(3/9) ○アウトオブキザニア in 会津 赤べこ・起き上がり小法師絵付け体験ワークショップ(アピオスペース)(11/30, 12.1) ・自主事業で会津町方伝承館のPRも兼ねて絵付け体験イベントや会津木綿ワークショップを開催するなど伝統工芸品への理解を深めてもらった。 ・アンケートやホームページにおける問合せや意見などを全社員で共有し、自主事業でワークショップを開催するなど事業に反映させた。 ・様々な自主事業を実施することにより来場者の増加を図ったが、より一層の利用率向上を目指し、インバウンドへも対応し、自主事業の実施に取り組んでいく。		・計画事業の実施の有無 ・事業の効果 ・ニーズの把握、反映 ・事業の改善の取組

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

	最終評価	所見	
	A	・ 事業計画に掲げた各種事業については、概ね計画通り実施した。計画していたからむし織フェアが開催に至らなかったことから、追加でワークショップを実施するなど、創意工夫をしながら施設の利用促進を図った。 ・ 自主事業の PR や、外部イベントへの積極的な参加により、伝統工芸品の認知度を向上させるとともに、伝統産業の振興を図った。 ・ アンケートやホームページからの問合せや意見を把握し、事業に反映させている。外国語パンフレット等を作成し、インバウンドへ対応するなど、利用率の向上に意欲的である。	

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

Ⅲ 維持管理		
1 施設、備品等の適切な維持管理		
施設、備品等が適切に管理され、良好な状態に保たれているか。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
S	・関係法令の定めに従い、消防設備や警備機器等設備、電気設備の定期点検を専門業者へ依頼し実施した。 ・施設の損傷等については、定期点検の実施により早期発見、修繕に努めた。 ・展示備品については、一部経年劣化が見られるものの台帳を基に適正に管理している。 ・社員による点検や専門業者による各種点検により、雪害による雨樋の破損や、経年劣化による非常照明の交換時期であることを確認し、速やかに状況を商工課へ報告した。見積等を依頼しており、年度をまたぐ形となるが迅速に修繕等を行う予定である。 ・利用促進事業で展示するエリアのディスプレイ棚を新設した。これまではガラスであったが杉板にペイントして工芸品を雰囲気よく展示するよう工夫した。	・施設の保守点検の実施の有無 ・施設の損傷の有無 ・備品台帳の整備状況 ・備品の損傷の有無 ・施設、備品の修繕の実施状況
最終評価	所見	
S	・関係法令の定めに従い、施設の保守点検を専門業者に依頼し、適切に実施している。 ・施設は社員や専門業者により修繕箇所を早期発見し、修繕が必要な箇所は、適宜修繕補修を行い、適切に管理されている。 ・備品の維持管理について、令和6年度は展示エリアのディスプレイ棚を新設するなど、古い施設でありながらも展示物を引き立たせる工夫に努めている。	

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

2 清掃業務 清掃が適切に行われ、利用者が快適に利用できる環境が維持されているか。			
自己評価		指定管理者コメント	評価の指標
A		・施設内の清掃を日々行うとともに、必要に応じて社員や清掃業者による特別清掃を実施し、利用者が快適に利用できるよう努めた。 ・トイレなどの各消耗品については、毎日の清掃の際に社員が点検と補充を行った。	・清掃業務の実施状況 ・消耗品の補充 ・除草等の状況 ・庭園等の整備状況
最終評価		所見	
A		・仕様書に沿った日常清掃や定期清掃を実施しており、衛生環境や美観の維持を心がけ、快適な空間を保つことに努めている。 ・消耗品は毎日の清掃の際に社員が点検や補充を行い、適切に管理している。	

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

3 施設の安全性の確保 利用者にとって安心、安全な環境が維持されているか。また、事故、災害発生時の危機管理体制は適切に構築されているか。			
自己評価		指定管理者コメント	評価の指標
A		・営業時間内は社員が定期巡回を行い、営業時間外については、機械警備により 24 時間の警備体制を取っている。 ・各種設備等の鍵は、事務所に一元管理するとともに、施設の施錠は、予め決められた社員のみが行っている。 ・事故、災害等の非常時に備え、緊急対応マニュアルや社内緊急連絡網を整備し、全社員に周知徹底を図り、スタッフ会議等で確認を行っている。 ・事故等による怪我人や病人が発生した場合に備え、常備医薬品等により応急処置を行える体制を整えている。 ・OJT により、社員の危機管理に対する意識の向上と施設の安全管理に努めた。	・警備体制の整備 ・巡回等の実施状況 ・鍵の保管状況 ・施錠の体制 ・非常時対応マニュアルの整備 ・非常時連絡体制の整備、周知 ・利用者への注意喚起 ・研修、訓練の実施状況

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

	最終評価	所見	
	A	・仕様書に沿った機械警備による警備体制を取っており、社員による巡回や施設内点検も適切に実施されている。 ・鍵は事務所に一元管理し、予め決められた社員のみが責任を持って施錠をしている。 ・緊急対応マニュアルや社内緊急連絡網を整備し、非常時にも迅速に対応できる環境を整備している。 ・AED の設置や事故等による怪我人や病人が発生した場合の体制を整備し、施設内の安全管理に努めている。	

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

IV 収支の状況			
1 財務状況			
管理運営にあたり、適切な経理を行っているか。また、財務状況に問題は無いかな。			
	自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
	A	・常勤理事のチェックのもと、弊社財務規程に基づいて、経理担当者を設置し、経理書類を適正に整備している。 ・各種伝票については、定められた保管年数により適正に管理を行っているほか、関連書類についても指定管理者協定書第 24 条の定めに基づき保管している。 ・通帳、印鑑については、鍵付き金庫により保管をしており、鍵は定期的に保管場所を見直しながら管理している。 ・支出に関しては社員、経理担当者、常勤理事による複数のチェック体制としているほか、毎月会計事務所の指導を受けており、不明瞭な支出は無かった。 ・当初の計画に沿って事業を実施することにより、予算と決算の大きな乖離は無かったほか、各種経費の削減に努め、収支バランスを維持した。 ・顧問税理士の指導のもと、法人としての健全経営と基盤強化に向けた取り組みを行っており、決算においては、税理士の指導のもと監事の監査を受け、理事会による承認を得ている。	・経理書類等の整備状況 ・経理担当の設置の有無 ・伝票の保管状況 ・通帳、印鑑の保管状況 ・不明瞭な支出の有無 ・予算、決算の乖離 ・外部監査の実施 ・収支のバランス

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

	最終評価	所見 ・会計処理については、経理担当者を配置し、経理書類、各種伝票、関係書類、通帳、印鑑等の適切な管理を行っている。 ・支出に関しては複数によるチェック体制を取っているほか、毎月会計事務所の指導を受けている。 ・顧問税理士の指導のもと、法人としての健全経営と基盤強化に取り組んでいる。	
2 利用料金の収入実績 収入の実績は伸びがみられるか。また、収入確保の方策は適切か。			
	自己評価	指定管理者コメント 【2階展示室利用料収入等】 令和6年度 171,150 円 (対前年度比 76.9%) 令和5年度 222,550 円 ・空き状況並びに展示室での催事情報は随時 SNS (Instagram・Facebook) やホームページなどを活用して PR を行い、利用促進に努めた。 ・利用実績に基づいて、利用団体などへの電話による個別セールスを実施した。	評価の指標 ・収入実績 ・収入の伸び率 ・収入確保に向けた取組
	最終評価	所見 ・2階展示室利用料について、過去の主催者への声かけや、SNS (Instagram・Facebook) ・ホームページなどを活用し情報発信を行い、利用促進に努めているが、利用料収入は令和5年度に比べ減少した。 例年利用している団体が展示室の利用に至らなかったことや、利用日数が減少したことによるものと考えられる。引き続き利用者確保に向けて利用促進の取組を期待する。	

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

3 経費の節減 適切な経費の節減に向けた取組が行われたか。また、効果が現れているか。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
S	・勤務ローテーションにおいて、繁忙期・閑散期に応じたシフトを組むことにより、適正な人員配置を行い、人件費の抑制に努めた。 ・融雪屋根の稼働契約期間は電源を入れずに電力量の削減に努めた。 ・電気代を削減するため、暖房については灯油と併用するなどして光熱費の削減に努めた。 ・令和5年に採用したLED照明の1年間を通しての利用により電気代削減の効果に至った。 【電力使用量】 令和6年度 21,561kwh (対前年度比 85.8%) 令和5年度 25,125kwh	・取組の有無 ・取組の効果
最終評価	所見	
S	・LED照明の導入や、暖房器具の併用によりエアコンの稼働を抑えるなど、電力使用量の削減に積極的に取り組んだ。 ・電気使用量は、令和4年度から年々減少し、令和6年度は令和5年度に比べ、電気の使用量が大幅に削減され、経費節減の効果が現れている。	

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

V その他		
1 市、関係機関及び地域との連携等 市、関係機関、地域との連携体制が適切に構築されているか。また、その他前記までの評価に合致しなかった取組について評価を行う。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	・市や関係団体との連携や会合等には積極的に参加し、情報の共有や地域との連携に努めた。 ・大町通り活性化協議会や会津短大、アネッサクラブなど地元との連携を図り、大町周辺で開催される各種イベントに積極的に参加し、家族連れや若者に立ち寄ってもらうことができた。(大町マルシェ等) ・極上の会津プロジェクト協議会をはじめ、会津まちの駅ネットワーク、各観光関連団体との情報共有にも参画した。	・その他 ・特記事項
最終評価	所見	
A	・所管課や関係団体との情報共有や地域との連携に努めている。 ・大町通り活性化協議会や会津短大、アネッサクラブなどの地域団体による各種イベントに積極的に参加し、会津町方伝承館のPRに努めている。 ・極上の会津プロジェクト協議会をはじめとした、各観光関連団体との情報共有にも参画している。	

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

VI 総合評価			
1 総合評価 指定管理者として適切な管理運営を行っており、利用者サービスの向上や効率化が十分に図られているか。			
	自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
	A	・会津町方伝承館条例及び関係法令等に定められた設置目的を十分に理解し、本市の伝統産業の振興・発展を図るための事業運営と公の施設としての適正管理に努めた。 ・まちなかの様々な観光情報の提供に努め、町方伝承館を中心としたまちなか観光へつながるような案内及び誘導に努めた。また、まちの駅の機能である案内人によるおもてなし、駐車場、トイレの提供、情報コーナーを設置し、来館者のニーズに合わせた情報提供や観光案内などの対応に努めた。 ・「会津まちの駅ネットワーク」のキーステーションとして、会津地域 38 か所の「まちの駅」と連携した広報 PR 活動や情報共有を行った。 また、ホームページをはじめ SNS(Instagram・Facebook)を活用し、季節ごとのテーマ展示なども含めた施設全体の PR や施設の設置目的である伝統産業の振興を図るための利用促進業務や自主事業、2 階展示室の催事情報の発信等を通して利用促進に努めた。 ・各種経費の削減に努め、会津町方伝承館の管理事業において収支バランスを維持することができた。	

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

最終評価		所見	
	A	・会津町方伝承館の設置目的を理解し、伝統工芸品の紹介の充実を図るため、展示コーナーやワークショップコーナーを常設し、市民と市を訪れる人への伝統産業の理解促進や伝統工芸品の普及に努めるなど、全般にわたり概ね円滑な管理運営を行っている。 ・「会津まちの駅ネットワーク」のキーステーションとして、まちの駅の機能を生かし、来館者のニーズに合わせたサービスの向上に努めた。 ・来館者数については、計画していたからむし織フェアの開催に至らなかったことや、令和7年2月の大雪による影響などが要因で、令和5年度と比較して来館者数は2,776人減少したものの、外部イベントへの積極的な参加やSNSなどのPR活動、さらには令和5年度から自主事業・利用促進事業の開催回数や日数を増やすなど、来館者数の増加に努めており、引き続き利用促進の取組を期待する。 ・教育旅行や体験学習の受け入れを積極的に行い、来校数は令和5年度と比較して、44%増加した。また、テーマ別の学習課題の質問に対し、スタッフが伝統工芸の歴史を解説するなど、丁寧に対応し、伝統産業とふれあう機会を提供した。 ・インバウンド旅行者に向けて、館内の伝統工芸品の情報に外国語表記を追加するなど、意欲的にサービス向上に取り組んでいる。 ・2階展示室利用料収入については、令和5年度と比較して76.9%減少した。一方で自主事業や利用促進事業の実施、節電の取組などの経費の削減に努め、収支のバランスを維持した。	

指定管理者評価シート

R6(会津町方伝承館)

総合評価の算定方法

① I から V までの各項目の最終評価を、次の基準により点数化します。

S ランク = 4 点 A ランク = 2 点 B ランク = 0 点 C ランク = - 2 点

例 (X 財団) S が 4 項目、A が 10 項目、B が 1 項目、C が 0 項目の場合、得点は 36 点

 (Y 社) S が 1 項目、A が 7 項目、B が 3 項目、C が 4 項目の場合、得点は 10 点

② 次に平均点を算出します。

例 (X 財団) 得点 36 点 / 評価項目 15 項目 = 平均 2.4 点

 (Y 社) 得点 10 点 / 評価項目 15 項目 = 平均 0.67 点

③ ②の平均点に応じ、次の区分により総合評価のランク付けを行います。

S ランク 平均点 $\geq$ 3 点 (ただし、C ランクが 1 項目でもある場合は A ランクとする。)

A ランク 3 点 $>$ 平均点 $\geq$ 1.3 点

B ランク 1.3 点 $>$ 平均点 $\geq$ 0 点

C ランク 0 点 $>$ 平均点

例 (X 財団) 総合評価 A ランク

 (Y 社) 総合評価 B ランク

会津町方伝承館 評価一覧（R 6 評価）

【参考】

大項目	小項目	自己評価	最終評価	最終評点	R 5 評価
I. 適切な管理運営 の確保	①施設の設置目的、基本方針等	A	A	2	A
	②適切な管理の履行	A	A	2	A
	③職員の状況	A	A	2	A
II. 利用者サービスの 維持向上	①利用状況	A	A	2	A
	②サービス内容の向上	S	S	4	S
	③利用者からの意見抽出、苦情等の処理	A	A	2	A
	④広報、P R 活動	S	S	4	S
	⑤自主事業の実施状況	A	A	2	A
III. 維持管理	①施設、備品等の維持管理	S	S	4	A
	②清掃業務	A	A	2	A
	③施設の安全性の確保	A	A	2	A
IV. 収支の状況	①財務状況	A	A	2	A
	②利用料金の収入実績	A	A	2	A
	③経費の節減	S	S	4	S
V. その他	①市、関係機関及び地域との連携	A	A	2	A
VI. 総合評価	上記 1 5 項目の総合評価（評点は平均点）	A	A	2.5	2.4
※総合評価 コメント	・会津町方伝承館の設置目的を理解し、伝統工芸品の紹介の充実を図るため、展示コーナーやワークショップコーナーを常設し、市民と市を訪れる人への伝統産業の理解促進や伝統工芸品の普及に努めるなど、全般にわたり概ね円滑な管理運営を行っている。 ・「会津まちの駅ネットワーク」のキーステーションとして、まちの駅の機能を生かし、来館者のニーズに合わせたサービスの向上に努めた。 ・来館者数については、計画していたからむし織フェアの開催に至らなかったことや、令和7年2月の大雪による影響などが要因で、令和5年度と比較して来館者数は2,776人減少したものの、外部イベントへの積極的な参加やSNSなどのPR活動、さらには令和5年度から自主事業・利用促進事業の開催回数や日数を増やすなど、来館者数の増加に努めており、引き続き利用促進の取組を期待する。 ・教育旅行や体験学習の受け入れを積極的に行い、来校数は令和5年度と比較して、44%増加した。また、テーマ別の学習課題の質問に対し、スタッフが伝統工芸の歴史を解説するなど、丁寧に対応し、伝統産業とふれあう機会を提供した。 ・インバウンド旅行者に向けて、館内の伝統工芸品の情報に外国語表記を追加するなど、意欲的にサービス向上に取り組んでいる。 ・2階展示室利用料収入については、令和5年度と比較して76.9%減少した。一方で自主事業や利用促進事業の実施、節電の取組などの経費の削減に努め、収支のバランスを維持した。				